

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症に関わる偏見や差別を許さないために

～ 所沢市教育委員会からのお願い ～

新型コロナウイルス感染症による国の緊急事態宣言から3年がたちました。

この間、学校生活が大きく変わり、マスクを着用しての生活をはじめ修学旅行等、学校行事の中止や規模縮小などを余儀なくされました。子どもたちは様々なストレスや不安を感じながら過ごしてきました。保護者の皆様におかれましても、同様に不安を感じながら、学校の教育活動へご理解とご協力をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

さて、4月から国の方針により学校教育活動において「マスクの着用は求めないこと」となります。

さらに、5月8日より、感染症法上の「5類」相当へ移行され、大きな転換期を迎えます。

新型コロナウイルス感染症は収まりつつありますが、感染してしまった方やそのご家族、身近な方等が、配慮に欠けた言動を受けたり、根拠のないうわさをSNS等で拡散されたりして、心を痛めているケースがこれまでもありました。

また、子どもたちがインターネットやSNS、伝聞等による不確かな情報に惑わされたり、マスクの着脱に起因するいじめや「ウイルス」「コロナ」等の言葉を用いたからかいをしたりすることもありました。

この3年間で新型コロナウイルス感染症に対する考え方も大きく変わってきました。「アフターコロナ」を迎える中、改めて子どもたちの人権意識を高めるために、身近な大人である私たちが寛容であり、多様な考えを受け入れることの手本を見せる必要があります。

私たち一人一人が相手の立場や気持ちを思いやり、穏やかな言動を心がけることで、未来ある子どもたちの豊かな心を一緒に育てていきましょう。

令和5年4月
所沢市教育委員会